

# 令和 2(2020)年度 事業報告

2020年4月 1日から

2021年3月31日まで

一般社団法人 日韓経済協会

## 目 次

I. 総会	-----	1
II. 理事会	-----	2
III. 諮問委員会	-----	3
IV. 日韓経済人会議	-----	4
V. 日韓新産業貿易会議	-----	7
VI. 青少年交流事業	-----	8
VII. 調査・広報活動	-----	13
VIII. その他事業及び出来事等	-----	16
IX. 会員異動	-----	18

# I. 総 会

## A. 第8回定時社員総会

第8回定時社員総会は定款規定により書面決議の方法で実施し、すべて原案どおり承認された。

1. 社員総会の決議があったものとみなされた日：2020年6月25日（木）
2. 議決権を行使することができる社員の総数：71名
3. 議決権を行使することができる社員の議決権の数：71個
4. 承認された議案及び報告事項

### 決議事項

第1号議案 平成31(2019)年度事業報告承認の件

第2号議案 平成31(2019)年度収支決算報告承認の件

第3号議案 公益目的支出計画実施報告承認の件

第4号議案 令和2(2020)年度事業計画及び収支予算承認の件

### 報告事項

- (1) 諮問委員会理事委嘱の件
- (2) 顧問委嘱の件

## Ⅱ. 理 事 会

令和2年度の理事会は、第1回、第2回とも定款規定により書面決議の方法で実施し、すべて原案どおり承認された。

### A. 令和2年度第1回理事会

1. 理事会の決議があったものとみなされた日：2020年6月9日（火）
2. 承認された議案

#### 決議事項

第1号議案 第8回定時社員総会開催の件

第2号議案 第8回定時社員総会付議事項承認の件

(1) 平成31(2019)年度事業報告(案)

(2) 平成31(2019)年度収支決算報告(案)

(3) 公益目的支出計画実施報告(案)

(4) 令和2(2020)年度事業計画及び収支予算

第3号議案 諮問委員会理事推薦承認の件

第4号議案 顧問推薦承認の件

### B. 令和2年度第2回理事会

1. 理事会の決議があったものとみなされた日：2021年3月29日（月）
2. 承認された議案

#### 決議事項

第1号議案 2021(令和3)年度事業計画(案)の件

第2号議案 2021(令和3)年度収支予算(案)の件

### Ⅲ. 諮問委員会

事業運営を円滑かつ適切に推進するために設置されている諮問委員会は、本年度、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、本会議の開催を見送りとした。

主要事業である日韓経済人会議は、日程の短縮、参加人数の縮小等、それぞれの国の感染予防基準に沿った形で、日本と韓国の会場をオンラインでつなぎ11月27日に開催された。

直接、報告ができないため、会議の概要は委員各位に文書で報告を行った。

## IV. 日韓経済人会議

第 52 回日韓経済人会議を 11 月 27 日、東京都（ホテルオークラ東京）において、大韓民国ソウル特別市（JW マリオット）とオンラインで結んでハイブリット形式にて開催した。日本側は佐々木幹夫団長以下 109 名、韓国側は金鉦団長以下 98 名が出席した。コロナ禍というかつてない厳しい状況下で直前まで開催が危ぶまれたが、「たとえ少人数となろうとも、交流の灯を守ろう」との声に支えられ、開催にこぎつけることができた。ご支援、ご協力に厚く感謝申し上げます。

会 場：ホテルオークラ東京 プレスステージタワー 平安の間

主 題：「未来を切り拓く日韓協力 - 2020 SDGs 新時代 -」

〔2020 年 11 月 27 日（金）〕

13：30～14：15 開会式

団長挨拶 □日本側：佐々木 幹夫 日韓経済協会 会長  
日韓産業技術協力財団 理事長  
■韓国側：金 鉦 韓日経済協会 会長  
韓日産業技術協力財団 理事長

来賓挨拶 □日本側：福田 康夫 第 91 代内閣総理大臣  
■韓国側：朴 起 永 産業通商資源部通商次官補  
□日本側：額賀 福志郎 日韓議員連盟会長 衆議院議員  
■韓国側：南 官 杓 駐日本国大韓民国特命全権大使

14：15～15：00 基調講演

□日本側：十倉 雅和 住友化学(株)代表取締役会長  
(一社)日韓経済協会諮問委員会副会長  
■韓国側：洪 錫 炫 韓日ビジョンフォーラム代表  
中央ホールディングス会長

15：00～15：20 休憩

15：20～17：00 全体会議 コーディネーター 高田 伸朗

NRI 社会情報システム(株)シニアコンサルタント

(1) 日本側 井水 治博 (株)日刊工業新聞社代表取締役社長  
(一社)日韓経済協会副会長

『第 3 国における日韓企業の連携と現地貢献』

(2) 韓国側 鄭 求 鉉 J Campus 代表研究員  
三星経済研究所前所長

『新型コロナウイルス禍と GVC の変化』

(3) 日本側 藤吉 優行 ソウルジャパンプラブ理事長  
韓国三菱商事(株)代表理事社長

『COVID-19 下の在韓日本企業の現状と今後の期待について』

(4) 韓国側 朴 舜 贊 現代自動車(株)燃料電池事業室長・常務

『水素社会の到来とビジョン 2030』

17：10～17：30 閉会式

## 【 共同声明 】

「未来を切り拓く日韓協力 - 2020 SDGs 新時代 -」

第 52 回日韓経済人会議を 2020 年 11 月 27 日に日本国東京都にて、大韓民国ソウル特別市とオンライン接続して開催し、日本側からは佐々木幹夫団長以下 109 名、韓国側からは金鉦団長以下 98 名が参加した。

現在、日韓の経済界を取り巻く環境は、大変厳しいものとなっている。特に、新型コロナウイルス感染症が短期間で全世界に広がり、今もなお多くの方々が感染に苦しんでいる状況を鑑みると、1 日も早い回復を願わずにはいられない。先頭に立って奮闘されている両国の医療従事者の皆様には、心より感謝を申し上げる。

テーマに掲げた SDGs は、持続可能でよりよい世界を目指す国際的な開発目標であるが、「健康と福祉」では感染症対策をターゲットとして取り上げているほか、経済成長や産業、貧困、教育、レジリエンスなどを含んでいる。新型コロナへの影響に打ち克っていくこと自体が SDGs の取り組みでもある。

経済面への影響は、日韓両国にとって非常に大きいものとなってしまったが、そのような中にありつつも日韓の経済人は未来を見据え、新しい形での交流を始めている。今回の日韓経済人会議も、オンラインにて両国をつなぐ形で開催することができ、人材・文化交流においても、web による新しい形での挑戦が続けられている。

両国経済人はこうした認識を共有し、「未来を切り拓く日韓協力 - 2020 SDGs 新時代 -」をテーマに、真摯に両国経済関係について討議した。その結果、相互発展と明るい未来のために、下記のような課題に関して連携して推進していくことに合意したので、共に宣言する。

### 記

1. 経済・人材・文化交流の重要性をしっかりと受け止め、継続と拡大にむけた取り組みを力強く推進する。
  - ・ 日韓の経済人は、今般の RCEP（地域的な包括的経済連携）の合意を、自由で幅広い貿易・投資の拡大や、日韓企業の第 3 国での協業など経済活動推進を支援するものとして歓迎する。

- また、SDGs の達成、少子高齢化・第 4 次産業革命・脱炭素社会・グローバルバリューチェーンなど共通する課題の解決に向け、強いパートナーシップのもと協力しあう。
  - さらに、新たな挑戦や工夫によって青少年交流・地域間交流を活性化し、相互理解、相互信頼に基づく日韓友好のインフラとして揺るぎないものとしていく。
  - 両国政府には、本来の政経分離の原則に基づく民間交流を一層進められるよう、今後とも力強いサポートを期待する。そのためにも、円滑なビジネス往来の再開が 1 日も早く実現できるよう、必要な諸施策の実施を強く願います。
2. 東京オリンピック・パラリンピックの安全かつ成功裡の開催に向けて協力を継続する。

なお、次回の第 53 回日韓経済人会議を、2021 年に韓国において開催する。

2020 年 11 月 27 日

日本側代表団団長 佐々木幹夫  
韓国側代表団団長 金 鉦

## V. 日韓新産業貿易会議

### 第 21 回日韓新産業貿易会議

日韓経済人会議に先立って開催する専門会議として、時宜にあわせたテーマ、共通課題などについて事前に討議を進め議論を深める目的で、毎年、日韓交互に開催している。

本年度は、新型コロナウイルス感染症禍がいまだ終息せず両国間の往来制限が続いているものの、ワクチン接種が日韓両国で開始されるなどの動きを鑑み、経済人会議は一堂に会しての開催を期して 11 月に延期、日韓新産業貿易会議は 5 月に日韓両国に会場を設けてのオンラインで結ぶハイブリット形式による開催とする。その結果、令和 2 年度の新産業貿易会議は延期、令和 3 年度に第 21 回および第 22 回を開催することとなる。

#### 【第 21 回日韓新産業貿易会議開催予定】

1. 日時：2021 年 5 月 12 日（水） 13:30～17:30
2. 場所：日韓の会場を web で結ぶ『オンライン会議』にて開催
  - ①東京会場：ホテルオークラ東京 1F 曙の間  
東京都港区虎ノ門 2 丁目 10-4  
☎ (03)3582-011
  - ②ソウル会場：COEX Conference room 3 階 327 号  
ソウル特別市江南区永東大路 513  
☎ +82-(0)2-6000-0114
3. 参加者：日韓両国の会議チェアマン・コーディネーター、委員など、両会場あわせて約 80 名
4. 会議テーマ：「日韓、ともに創造する未来」
  - セッションⅠ：「未来志向の日韓関係」
  - セッションⅡ：「日韓共通課題の実現」

## VI. 青少年交流事業

### 1. 青少年交流事業の実施状況

#### (1) 「日韓高校生交流キャンプ」実施状況

- ① 「未来志向の日韓関係」構築の基礎である人的交流の一環として、次世代を担う若者たちの草の根レベルの交流促進を目指し、2004年1月から「日韓高校生交流キャンプ」事業を開始した。これまで17年間で26回開催、延べ2,350人を超える交流実績となり、着実に成果を重ねて協会会員および参加学校、開催地域の理解と協力が広がりつつある。

2020年度は新型コロナウイルス蔓延の影響により、合宿形式の高校生交流キャンプの開催は見送り、新たに日韓の高校生・大学生・社会人を対象に、オンラインを利用した「日韓青少年 Trial & Error 交流会」を2回開催した。

- ② 運営面では2006年度から2007年度までは、本事業の趣旨に賛同いただいた6社・団体の協賛金・助成金により運営し、2008年度から2011年度までは、日本政府の「21世紀東アジア青少年大交流計画事業(JENESYS: 2007年度から2011年度の5年間実施)」に登録され、(公財)日韓文化交流基金 委託事業の形態で資金を得て運営した。2012年度は、日韓経済協会の剰余金と韓国中小企業庁の支援金を合わせて、これまで通り参加費無料で運営した。2013年度から2019年度までは、JENESYSの後継として実施された「JENESYS2.0」の一環として、毎年(公財)日韓文化交流基金の企画競争公募の審査基準に合格し、その業務委託金と韓国産業通商資源部の支援金を合わせて運営、2015年度からは、業務委託金と支援金の他、参加者から10,000～30,000円の参加費を徴収して運営している。

- ③ 今後の課題：本事業の成果・意義を社会的に訴求することで政府の継続的支援を得ていくことが肝要である。

#### (2) 「日韓学生未来会議」実施状況

- ① 高校生交流キャンプ参加後の更なる交流の継続と発展のため、キャンプ参加学生が自主的に日韓両国でOB・OG会(JKSFF/KJSFF)を発足させ、2006年度から活動を始めた。日韓各々の団体が勉強会・討論会・交流会等の開催、高校生交流キャンプへの運営ボランティア参加、他機関が開催する交流行事への参加や情報交換等、毎年活発な活動を行っている。

- ② 両国のOB・OG会活動の最大の交流事業として、両国学生が毎年、日韓に関わるテーマを一つ決め、事前学習・発表・討論を行う「日韓学生未来会議」を日韓交互に開催している。2020年度はCOVID-19蔓延の影響により、当初の予定や会議内容を変更し、「これからの日韓共通課題への解決策」をテーマに、オンラインを利用して開催した。当協会では、学生の自主性を尊重しつつも、安全かつ効果的に会議を実現するため、交流会の企画・運営に関して積極的に助言し、渡航・滞在等の支援を行っている。
- ③ 高校生交流キャンプと同様に、運営面での継続支援を確保するための対応が重要な課題である。

## 2. 青少年交流事業の実施実績

### (1) 「日韓高校生交流キャンプ」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]  
(第10回～第18回、第20回～第26回)
- ・主催：日韓経済協会、韓日経済協会
- ・後援：外務省、国土交通省  
韓国産業通商資源部
- ・開催実績：

	場所	日程(交流期間)	日本側参加者	韓国側	参加者計
第1回	日本・東京	2004年1月16日～20日	62人(4校)	50人	112人
第2回	日本・東京	2004年7月26日～30日	20人(10校)	52人	72人
第3回	韓国・ソウル	2004年8月18日～22日	46人(7校)	48人	94人
第4回	日本・東京	2005年2月11日～15日	64人(19校)	54人	118人
第5回	日本・東京	2005年8月6日～10日	44人(17校)	46人	90人
第6回	日本・東京	2006年2月9日～13日	59人(17校)	47人	106人
第7回	韓国・ソウル	2006年8月4日～8日	38人(16校)	49人	87人
第8回	日本・幕張	2007年2月9日～13日	42人(17校)	38人	80人
第9回	日本・東京	2007年8月5日～9日	34人(20校)	41人	75人
第10回	韓国・一山	2008年2月10日～14日	46人(17校)	39人	85人
第11回	日本・東京	2008年8月3日～7日	44人(25校)	44人	88人
第12回	韓国・ソウル	2009年2月1日～5日	50人(34校)	50人	100人
第13回	韓国・龍仁	2009年7月28日～8月1日	44人(31校)	44人	88人

第14回	日本・大阪	2010年2月2日～6日	39人(24校)	49人	88人
第15回	韓国・ソウル	2010年8月3日～8月7日	50人(40校)	49人	99人
第16回	韓国・ソウル	2011年2月8日～2月12日	50人(39校)	50人	100人
第17回	韓国・ソウル	2011年8月2日～6日	49人(44校)	47人	96人
第18回	日本・大阪	2012年1月31日～2月4日	50人(32校)	50人	100人
第19回	韓国・ソウル	2012年7月24日～28日	50人(40校)	50人	100人
第20回	日本・大阪	2013年7月28日～8月1日	50人(39校)	50人	100人
第21回	日本・川越	2014年7月27日～7月31日	50人(39校)	50人	100人
第22回	韓国・ソウル	2015年7月27日～7月31日	40人(34校)	40人	80人
第23回	日本・南三陸 &仙台	2016年7月29日～8月3日	40人(31校)	40人	80人
第24回	韓国・平昌	2017年7月24日～7月28日	40人(34校)	40人	80人
第25回	日本・広島	2018年7月29日～8月2日	40人(34校)	35人	75人
第26回	韓国・ソウル	2019年8月5日～8月9日	30人(30校)	30人	60人
延べ参加人数			1,171人	1,182人	2,353人

(2) 「日韓学生未来会議」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]  
(第3回～第6回及び第9回～第10回)、その他の回は自主開催
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB・OG会組織)
- ・後援：日韓経済協会
- ・開催実績：

	場所	日程(交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・幕張	2007年2月9日～12日	14人	10人	24人
第2回	韓国・ソウル	2008年2月12日～16日	6人	15人	21人
第3回	日本・東京	2009年2月9日～13日	17人	16人	33人
第4回	韓国・釜山	2009年8月3日～7日	20人	20人	40人
第5回	日本・京都	2010年8月9日～13日	17人	20人	37人
第6回	韓国・ソウル	2011年8月8日～12日	17人	19人	36人
第7回	韓国・ソウル	2012年8月6日～10日	14人	14人	28人
第8回	日本・大阪	2013年8月6日～10日	14人	15人	29人
第9回	韓国・大田	2014年8月5日～9日	14人	14人	28人
第10回	韓国・ソウル	2015年8月6日～10日	12人	8人	20人

第11回	日本・福岡	2016年8月18日～22日	14人	14人	28人
第12回	韓国・龍仁	2017年8月7日～11日	21人	16人	37人
第13回	日本・長崎	2018年8月5日～10日	22人	20人	42人
第14回	韓国・釜山	2019年8月18日～23日	18人	16人	34人
第15回	オンライン	2021年2月19日～21日	14人	16人	30人
延べ参加人数			234人	233人	467人

(3) 「日韓青少年 Trial & Error 交流会」開催実績

- ・主催・運営：日韓経済協会 青少年交流センター、  
日韓青少年 Online 交流会推進チーム
- ・使用ツール：ZOOM（オンライン会議）
- ・開催実績：

	日程	詳細日程（全員集合日）	日本側	韓国側	参加者
第1回	2020年9月4～19日	4日 OT・開会 13日 中間発表 19日 最終発表・閉会	6人	9人	15人
第2回	2020年10月17～31日	17日 OT・開会 24日 中間発表 31日 最終発表・閉会	13人	9人	22人
延べ参加人数			19人	18人	37人

(4) 「Visit & Feel JAPAN Tour」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主催：日韓経済協会
- ・後援：外務省、駐日本大韓民国大使館、SJC（ソウルジャパンプラブ）
- ・協力・協賛：三菱商事、アサヒビール、JTB、JKSFF・KJSFF
- ・開催実績：

	場所	日程（交流期間）	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・関東	2017年2月13～18日	交流会のみ 参加	20人	20人
第2回	日本・北海道・青森	2018年1月30～2月4日	—	20人	20人
延べ参加人数				40人	40人

(5) 「日韓交流の広場」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB・OG会組織)
- ・後援：日韓経済協会
- ・開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	韓国・ソウル	2011年12月23～25日	73人	54人	127人
延べ参加人数			73人	54人	127人

## Ⅶ. 調査・広報活動

韓国関連の情報・資料を会員宛に提供  
～定期刊行物（日報・週報・月報）の発行～

### 1. 日報の配信

近年は韓国の新聞各社の記事が日本語版として広くネットで配信されるようになり、その種類も増加した。それらの中から最新の韓国情勢をリアルタイムに伝えるため、主として政治・外交・社会一般動向に関する情報を整理し選別した記事を日報ベースにて適宜メールで配信した。

（従前は韓国語新聞数紙から選んだ記事を協会にて翻訳し週報記事としていたが、昨今の情報伝達の迅速化に合わせ記事発表から近い時間内に協会が選択した動向情報を日報として配信することになっている）

### 2. 週報『日韓経済協会通信』の配信

韓国の政治・経済動向・経済指標統計・社会一般文化に関する情報を複数の韓国語経済週刊誌や韓国政府機関HPから選別し、それらを翻訳・編集したものを週報としてメール配信した。週報では経済関連記事を主として取りあげ、原則毎週木曜日に会員宛に送信した。

協会の客観的視点を基軸に韓国情勢をウオッチし週単位にて韓国の主要動向を情報として伝えた。

2020年度は、2020年4月2日付け第1397号から2021年3月25日付け第1444号までの48週分を発行した。

### 3. 月報『協会報』の発行

月刊の協会報の主な内容は次の通り。

#### [経済一般動向]

韓国の最新動向に沿った質量感のある関連記事を韓国の経済週刊誌各誌等から選択・翻訳・編集し情報として提供した。

#### [JKEレポート]

1カ月単位で「最近の韓国情勢」と「最近の日韓企業間の動向」を～報道日誌～として整理した。韓国メディア報道の中から選んだ日々の主要記事を整理して時系列的に掲載した。

#### [資料]

主要な各種の最新統計資料を韓国政府機関HP等から選択し翻訳したものを掲載した。

#### [協会・財団]

協会及び共に各種活動を協働している（一財）日韓産業技術協力財団の事業活動を要約日誌として報告した。協会の各種活動内容を紹介し報告した。

#### [その他]

主要ニュースインデックスとして政治・外交、経済、社会・文化、新型コロナウイルス、北朝鮮に類別した韓国報道の時系列目次で、各表題の記事は上記の〔JKEレポート〕に記載されている。

2020年度は、564号（2020年4月号）から575号（2021年3月号）まで月刊で計12冊を発行し、会員会社・関係団体等に郵送配布した。

なお、協会報に掲載した[経済一般動向]の過去1年間の掲載記事一覧は別添の通り。

#### 4. 最近の統計指標で見た韓国経済

韓国は継続的に貿易依存度が高いが、韓国の2020年の実績(暦年)は輸出5,125億ドル（前年比5.5%減）、輸入4,676億ドル（同7.1%減）、貿易収支黒字は449億ドルだった。～通関基準の暫定値～

輸出入を合わせた年間貿易額は2011年に1兆ドルを超えた。2015年と2016年は1兆ドル未達となったが2017年に回復し、2018年が1兆1,401億ドル、2019年は1兆456億ドルを達成していた。しかし、2020年はコロナ禍の影響もあり9,801億ドルとなり1兆ドルには届かなかった。

一方、韓国銀行発表の2020年の経常収支（速報値）は753億ドルの黒字（前年は597億ドル）で、1998年から23年連続で黒字を維持している。

外貨準備高は2020年末で4,431億ドル（2021年3月末4,461億ドル）を保有している。因みに、19年末は4,088億ドル、18年末は4,037億ドル。

韓国の実質GDP成長率は2011年以降2～3%台で推移していたが、2020年はコロナ禍でもあり△1.0%（暫定値）だった。

統計庁発表の若年失業率（15～29歳）は2021年3月に10.0%と依然として高く、若年層の就職難が拡大継続している。

また、家計負債も持続的に増加が続き2020年末で1,726兆ウォン（約166兆円）に達した。いずれも引き続き大きな社会問題となっている。

なお、2020年は新型コロナウイルスの蔓延が世界に拡大し世界経済に大きな

影響を与えた。韓国は初期段階で防疫への政府対応が成功し高く評価されたが、2021年3月末時点ではワクチン手配の遅延に対する不満等も出ている。2021年3月31日午前0時時点での韓国全土の累計感染者は102,582人、死者数は1,729人と発表されている。

## Ⅷ. その他事業及び出来事等

### 1. 新型コロナ感染症対策

(1) 概要：職員や関係先の健康と安全を最優先に、また政府・自治体の進める感染拡大防止に協力するため、リモートワークやフレックスタイムなどを適宜導入した。

(2) 期間と対策：

2020. 3. 2～ 6. 30	就業時間の短縮
2020. 3. 4～現在	時差勤務体制の導入
2020. 3. 4～ 6. 18	在宅勤務の実施（事務所への出勤は事前申告）
2020. 6. 19～ 6. 30	事務所への出勤再開（時差勤務・就業時間変更は継続）
2020. 7. 1～ 7. 26	通常出勤の再開（時差勤務は継続）
2020. 7. 27～12. 06	在宅勤務の再実施（週一日の在宅勤務）
2020. 12. 7～2021. 1. 17	在宅勤務強化（週二日の在宅勤務）
2021. 1. 18～ 2. 28	在宅勤務強化（週二日の在宅勤務、週一回の自宅待機）
2021. 3. 1～現在	在宅勤務の緩和（自宅待機終了、週二日在宅勤務継続）

(3) 業務の簡素化、オンライン化

資料配布の PDF 化とメール送信、会議用 WEB カメラとオンライン会議システム（ZOOM）導入など、リモートワークに対する環境整備と簡素化を進めた。

### 2. 叙勲褒章受章

(1) 概要：日韓経済協会に関連し、4 名の方が叙勲褒章受章をされた。ご功績が認められてのご受勲ご受章を称え祝賀会を催した。

旭日大綬章	荻田 伍	（元 日韓経済協会 副会長）
旭日大綬章	榊原 定征	（日韓経済協会 相談役）
旭日重光章	岡 素之	（日韓経済協会 副会長）
藍綬褒章	池田 正己	（日韓経済協会 副会長）

(2) 祝賀会：令和 2 年（2020 年）10 月 7 日

The Okura Tokyo プレスステージタワー

(3) 出席者：佐々木会長、荻田元副会長、岡副会長、池田副会長、上田副会長、井水副会長、泉谷副会長、十倉副会長、村上副会長、是永専務、杉山常務、千吉良常務、前田常務、内田理事、河津監事

### 3. 韓国経済協会からマスク寄贈

(1) 概要：新型コロナ感染症が拡大する中、韓日経済協会から北陸・大阪・九州の 3 地区に対してマスク 50,000 枚を寄贈いただいた。

(2) 贈呈式：（九州）令和 2 年（2020 年）6 月 24 日（オンライン）

金鉦会長から「両国の友好の象徴に」、九州経済連合会麻生会長から「お互いを思いやる気持ちを持ちたい」との挨拶がされ、その様子はメディアで報道された。

#### 4. 日韓交流おまつり 2020 in Tokyo (第12回)

- (1) 概要：日本と韓国が共に作り上げるという意味から、2009年から東京でも開催。コロナ禍により初めてのオンライン開催となったが、2万3千人の方が視聴し、ステージからの配信を楽しんでいただいた。
- (2) 日時：令和2年(2020年)9月26日
- (3) 場所：YouTube「オンライン駐日韓国文化院」チャンネルでのLIVE配信
- (4) 参加者：佐々木会長(ビデオメッセージ)

#### 5. 韓日交流おまつり 2020 in Seoul (第16回)

- (1) 概要：日韓最大の草の根交流行事で、両国の友好増進を目的に開催。今年新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインを中心に、韓国と日本の団体によるステージ公演をはじめ、自治体、企業、体験ブースで韓国と日本の様々な文化に触れられるイベントを実施。
- (2) 日時：令和2年(2020年)11月10日
- (3) 場所：韓国 ソウル特別市江南(カンナム)区 COEX
- (4) 参加者：佐々木会長(ビデオメッセージ)

#### 6. 開天節(韓国建国記念日)記念動画

- (1) 概要：「開天節」を記念する韓国大使館主催の国慶日のイベント。例年はレセプションを開催していたが、本年は記念動画の配信として実施。
- (2) 日時：令和2年(2020年)10月3日
- (3) 場所：YouTubeで配信
- (4) 参加者：佐々木会長(ビデオメッセージ)

#### 7. 姜昌一(カン・チャンイル)駐日本国大韓民国全権大使と昼食会

- (1) 概要：姜昌一新大使着任もコロナ禍により歓迎会を開催できない中、大使からの招待を受け少人数で交流。協会活動を紹介するとともに民間交流促進に対する支援を要請。
- (2) 日時：令和3年(2021年)2月19日
- (3) 場所：駐日本国大韓民国大使館 大使公邸
- (4) 参加者：佐々木会長、是永専務理事

#### 8. 事業・イベントの開催中止、見送り

- (1) 第19回韓国展示・商談会 G-Fair (主催：(社)韓国貿易協会)  
当初予定：令和2年3月24日～25日
- (2) 賀詞交歓会  
例年は1月中下旬に会員企業や政府、関連団体などに参集いただき開催。

## IX. 会 員 異 動

### 1. 入会

(1) 正 会 員	なし
(2) 協力会員	なし

### 2. 退会

(1) 正会員 (会員名)	(退会年月日)
株式会社インジェスター	2020年9月30日
AGC株式会社	2021年3月31日
株式会社電通	//
株式会社野村総合研究所	//
富士ゼロックス株式会社	//
三井不動産株式会社	//
(2) 協力会員 (会員名)	
株式会社ロイヤルホテル	2020年5月31日
三菱マテリアルテクノ株式会社	2021年3月31日

### 3. 2021年3月31日現在

正 会 員 数	65社
協力会員数	8社

以上

# 月刊誌『協会報』の主要標題一覧

2020年4月（第564号）～2021年3月（第576号）

〔特集〕		2020年9月	* 貸借借法の後遺症か？
2021年1月	* 令和3年 年頭所感（佐々木幹夫）		* 食卓の物価上昇、その原因は「気候危機」
〔寄稿〕			* ポスコ、史上初の四半期赤字
2020年12月	* 「日韓交流おまつり2020 in Seoul」総評		* L C C 業界の生き残りをかけた競争
〔経済一般動向〕			* 100年続いた黄金期の終焉か…転機の精油業界
2020年4月	* 昨年の1人当り国民所得は3万2,000ドル		* この3か月間で現代自動車の株価が2倍に
	* 企業・家計への貸付3,100兆・・GDP比1.6倍に	10月	* 政府の基幹産業安定基金は「アジアナ航空」のものか？
	* 金融政策の限界…政策金利0%台の時代、効果は不透明		* サムスンペイカード発売で
	* 新型コロナウイルスによる経済危機の波は？		「プラスチックカード消滅」
	* 新型コロナがもたらす経済への衝撃波		* 急増する個人信用貸付…半月の間に2兆W膨張
	(1) 経済危機10年周期説が現実		* S K グループ…手がけた事業は全て
	(2) 通貨危機・世界金融危機とウイルス危機の影響比較		「ジャックポット」
	(3) S A R S ・ M E R S ・ スペインかぜ		* 地域拠点国立大学が地域活性化の鍵
	(4) 三大危機にどのように対応したのか？		* 激変する雇用、「半規職」時代の到来
5月	* 現実化するも準備不足のオンライン学校	11月	* 鄭義宣の「オールニュー」現代自動車
	* 財界非常経営、C A S H I S K I N G		* S K ハイニックス、インテルNAND事業を10兆で買収
	I. 第2四半期以後に業績悪化の懸念		* 国家債務急増の中での空虚な財政準則
	II. 「売上ゼロ」ショック、現金確保が死活問題に		* 水素経済の前面に「天然ガス」を掲げた政府
	* 総選挙後の経済政策		* 需要・供給の構造からひも解くチョンセ大乱
	* スーパー与党による「韓国版ニューディール」は？		* 海外メディアが報じた故・李健熙会長
	* 電気自動車用バッテリーで韓国企業が躍進		* 李健熙、韓国をモノクロからカラーに変えた
6月	* コロナを早期克服した「K-製造業」の力	12月	* 大韓航空・アジアナ航空の吸収合併を推進
	* 文大統領、「戦時財政」を要請		* 韓国は「税金との戦争中」
	* 急増する民間負債		* 最悪のチョンセ難、政府が打ち出した解決策は？
	* 韓国のGDP、世界ランキング低下		* 10年不況の海運産業に回復の兆し
	* コロナウイルス禍でも企業M&Aの大型市場発生		* 2021年の経済大予測…脱コロナでV字回復か
	* 財界1・2位が手を組んだ「全固体バッテリー」とは？		* 2021年の10大経済 이슈
	* ハンファソリューション、太陽電池事業が好調		* バイデン時代の韓国の産業天気図
	* ポストコロナ時代、韓国版ニューディールの行方	2021年1月	* 世界は、そして韓国は…2021年の経済大予測
7月	* 香港発の米・中対立、第2ラウンドへ		・ 米国経済の成長は続くか
	* 政府が描くニューディールに「グリーン」なし		・ 中国の5%成長は可能か
	* デスバレーを乗り越えたユニコーンにもう一つの危機		・ 低迷する欧州経済は回復するか
	* 借借人・家主の双方にとって不幸な貸借借3法		・ 日本経済は活力を取り戻すか
	* L N G 船で稼ぐ韓国造船業の競争力は？		・ A S E A N 新興国の経済は高度成長を実現するか
	* 試練を迎えるアフターコロナの金融業界		・ 経済成長率2%台への復活は可能か
8月	* 財界ランキングを塗り変えた当代創業企業		・ 家計負債の雷管は爆発するのか
	* 金融・決済市場で既に「ナマズ」ではなく「鯨」に		・ 重厚長大産業は低迷を脱することができるのか
	* コロナが変えた各国株式市場の首位		・ バッテリー産業は主導権を握れるのか
	* 6・17不動産対策の後遺症		* ポスコが電気自動車3億7,000万台分のリチウムを確保
	* 不動産・株式市場に集まる資金の出所		* 「企業規制3法」通過で財界は茫然自失
	* 2020年税法改正案	2月	* トップ不在のサムスン、非常経営体制に突入
	* 電気自動車の核となるバッテリーを巡る競争が熾烈に		* S K グループ、米プラグパワーの持分価値が急騰
9月	* 過去最大に膨らんだ家計負債		* K O S P I 時価総額上位10社のシェアは約5割
	* 大韓民国は税金共和国…「ロビンフッド増税」		* 経済団体の新年の辞が要請文になった理由

2021年2月	* 排出権価格が急騰、伝統的製造業は非常事態	2020年7月	* 2020年6月の雇用統計 (韓国統計庁)	
	* I T企業と完成車企業の「合従連衡」が急ピッチ		8月	* 2020年6月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)
	* 「産業首都」蔚山(ウルサン)の経済生態系大転換			* 2020年6月の生産者物価指数 (韓国銀行)
	* 北朝鮮の核武装強化の経済学			* 2020年7月の消費者物価動向 (韓国統計庁)
3月	* 建設大手5社の2020年度業績	* 2020年7月の輸出入動向 (産業通商資源部)		
	* NY証券市場の上場申告書で見たクーポンのSWOT分析	* 2020年7月末の外貨準備高 (韓国銀行)		
	* L G化学、過去最高の業績で「にんまり」	* 2020年7月の雇用統計 (韓国統計庁)		
	* スマートフォンを手放そうとしているL G電子	* 2020年4～6月期実質国内総生産 (速報)		
	* 危機に瀕するロッテ、経営は先行き不透明	9月	* 2020年7月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)	
	* 第4次産業革命の蚊帳の外？ロッテにも秘策あり		* 2020年7月の生産者物価指数 (韓国銀行)	
	* 雇用率は最悪、今時の20代の生き方		* 2020年8月の消費者物価動向 (韓国統計庁)	
[ J K E レポート ]	* 2020年8月の輸出入動向 (産業通商資源部)			
2020年4月	* 最近の韓国情勢～報道日誌～	* 2020年8月末の外貨準備高 (韓国銀行)		
2021年3月		* 2020年8月の雇用統計 (韓国統計庁)		
2020年4月	* 最近の日韓企業間の動向～報道日誌～	* 2020年4～6月期国民所得 (暫定)		
2021年2月		10月	* 2020年8月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)	
	* 2020年8月の生産者物価指数 (韓国銀行)			
	* 2020年9月の消費者物価動向 (韓国統計庁)			
	* 2020年9月の輸出入動向 (産業通商資源部)			
	* 2020年9月末の外貨準備高 (韓国銀行)			
	* 2020年9月の雇用統計 (韓国統計庁)			
	[ 経 済 人 会 議 ]			
2020年9月	* 第52回日韓経済人会議 (ご案内)	11月	* 2020年9月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)	
2020年12月	* 第52回日韓経済人会議をオンラインで開催		* 2020年9月の生産者物価指数 (韓国銀行)	
	[ 資 料 ]	* 2020年10月の消費者物価動向 (韓国統計庁)		
2020年4月	* 2020年2月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)	* 2020年10月の輸出入動向 (産業通商資源部)		
	* 2020年2月の生産者物価指数 (韓国銀行)	* 2020年10月末の外貨準備高 (韓国銀行)		
	* 2020年3月の消費者物価動向 (韓国統計庁)	* 2020年10月の雇用統計 (韓国統計庁)		
	* 2020年3月の輸出入動向 (産業通商資源部)	* 2020年7～9月期実質国内総生産 (速報)		
	* 2020年3月末の外貨準備高 (韓国銀行)	12月	* 2020年10月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)	
5月	* 2020年3月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)		* 2020年10月の生産者物価指数 (韓国銀行)	
	* 2020年3月の生産者物価指数 (韓国銀行)		* 2020年11月の消費者物価動向 (韓国統計庁)	
	* 2020年4月の消費者物価動向 (韓国統計庁)		* 2020年11月の輸出入動向 (産業通商資源部)	
	* 2020年4月の輸出入動向 (産業通商資源部)		* 2020年11月末の外貨準備高 (韓国銀行)	
	* 2020年4月末の外貨準備高 (韓国銀行)		* 2020年11月の雇用統計 (韓国統計庁)	
	* 2020年3月の雇用統計 (韓国統計庁)		2021年1月	* 2020年11月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)
	* 2020年4月の雇用統計 (韓国統計庁)	* 2020年11月の生産者物価指数 (韓国銀行)		
6月	* 2020年4月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)	* 2020年12月の消費者物価動向 (韓国統計庁)		
	* 2020年4月の生産者物価指数 (韓国銀行)	* 2020年12月の輸出入動向 (産業通商資源部)		
	* 2020年5月の消費者物価動向 (韓国統計庁)	* 2020年12月末の外貨準備高 (韓国銀行)		
	* 2020年5月の輸出入動向 (産業通商資源部)	* 2020年12月の雇用統計 (韓国統計庁)		
	* 2020年5月末の外貨準備高 (韓国銀行)	2月	* 2020年12月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)	
	* 2020年5月の雇用統計 (韓国統計庁)		* 2020年12月の生産者物価指数 (韓国銀行)	
7月	* 2020年5月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)		* 2021年1月の消費者物価動向 (韓国統計庁)	
	* 2020年5月の生産者物価指数 (韓国銀行)		* 2021年1月の輸出入動向 (産業通商資源部)	
	* 2020年6月の消費者物価動向 (韓国統計庁)		* 2021年1月末の外貨準備高 (韓国銀行)	
	* 2020年6月の輸出入動向 (産業通商資源部)	* 2021年1月の雇用統計 (韓国統計庁)		
	* 2020年6月末の外貨準備高 (韓国銀行)			

2021年2月	*2020年10～12月期と年間の実質国内総生産（韓国銀行）
3月	*2021年1月の国際収支（暫定）（韓国銀行）
	*2021年1月の生産者物価指数（韓国銀行）
	*2021年2月の消費者物価動向（韓国統計庁）
	*2021年2月の輸出入動向（産業通商資源部）
	*2021年2月末の外貨準備高（韓国銀行）
	*2021年2月の雇用統計（韓国統計庁）
	*2020年10～12月期と年間の実質国内総生産（韓国銀行）
〔協会事業など〕	
2021年1月	*日韓青少年T&Eオンライン交流会」実施について
3月	*「第15回日韓学生未来会議」実施について
〔協会・財団活動〕	
2021年1月	*日韓経済協会・日韓産業技術協力財団の活動日誌
2月	*日韓経済協会・日韓産業技術協力財団の活動日誌
3月	*日韓経済協会・日韓産業技術協力財団の活動日誌
〔財団活動の紹介〕	
2020年4月	*2019年度日韓産業技術協力財団の主要活動 (2019年4月～2020年4月)
9月	*「在韓日系企業CSR活動支援事業」の報告